

エプキンリ療法【1コース目(2ステップ漸増)】(Day15,22)**【血液内科】67-15,22【大細胞型B細胞リンパ腫、濾胞性リンパ腫Grade3B】****(第 コース目)**

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	/
エプキンリ	↓	↓	↓	↓	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
※①	10時	生食 500mL 24時間
※①	10時	同時に側管より カロナール内服 → 別途内服オーダー ボラミン注5mg 1A デキサート注6.6mg 2V デキサート注1.65mg 1A 生食 100mL 30分
②	11時	●エプキンリ皮下注 48mg 皮下注射

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
エプキンリ	《Day1》 0.16mg/body 《Day8》 0.8mg/body 《Day15,22》 48mg/body

■注意・確認事項

○エプキンリ投与によりサイトカイン放出症候群(CRS)が起こる場合があるので注意すること。
 CRS予防のため、エプキンリ投与30~120分前に副腎皮質ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤を投与すること。
 また、投与翌日、投与後2日目及び3日目(合計4日間)にも副腎皮質ホルモン剤を投与すること。

《CRS及びTLS予防のための対策(適正使用ガイド:国内臨床試験の参考資料)》

- ・投与前24時間に2~3Lの水分を摂取する。
- ・投与前24時間に降圧薬の服用を中断することを検討する。
- ・投与日は、投与前に等張輸液500mL投与かつ投与24時間に2~3Lの水分を摂取する。

入力 薬剤師	看護師	看護師